

## 目標（5）

# 地域ぐるみで 子育て・子育てを支えます



▲保育園運営（地域の方との交流）

### I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	地域社会を構成する地域・事業者・関係機関と連携し、子育て・子育てを総合的に支援することにより、「社会の宝」である子どもが健やかに成長でき、安心して子どもを産み育てることができる環境を整えていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子育てと仕事の両立など、安心して子どもを産み、育てられる環境が整っています。</li> <li>◇ 子育てを楽しむ親や地域の大人が増え、親子の対話や世代間交流が活発に行われ、子どもとともに成長しています。</li> <li>◇ 子どもの視点に立った成長支援が地域ぐるみで行われ、子どもがのびのびと活動し、家庭やまちに笑顔があふれています。</li> </ul>

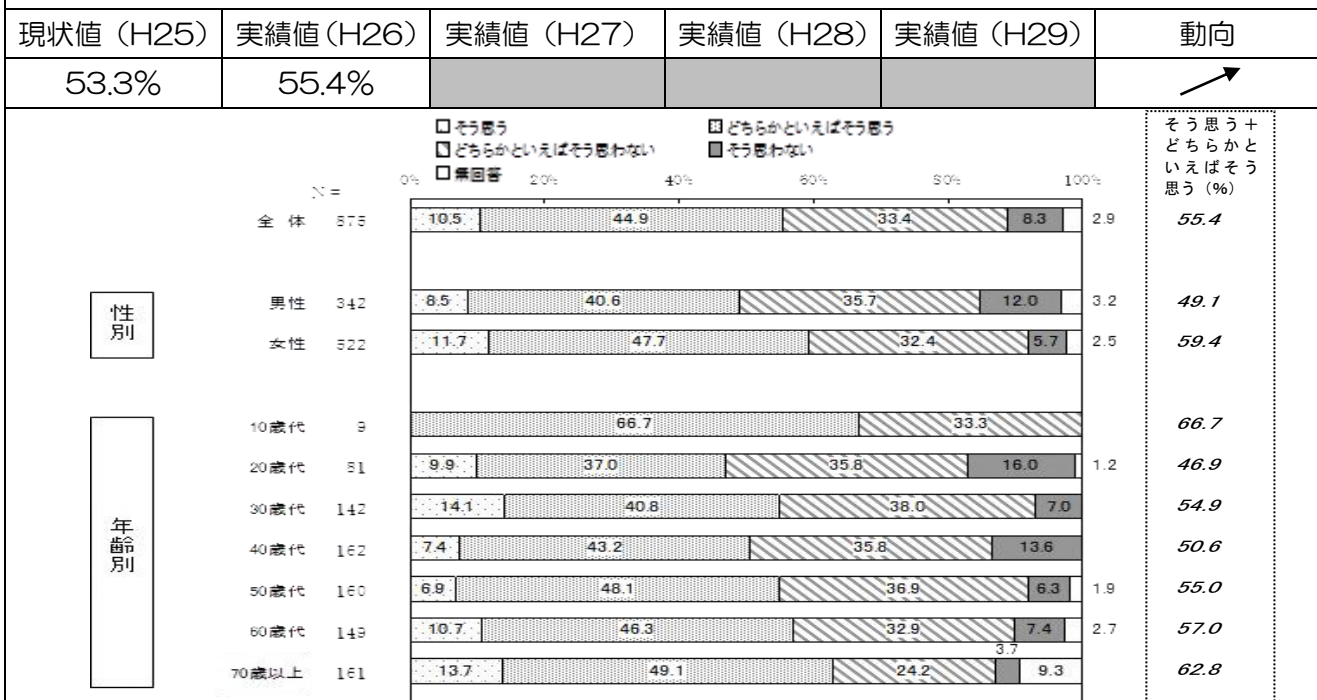
### II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、多様で柔軟な保育サービスの提供など、子育てニーズを適切なサービスに結びつける取組みを進めます。	①人口分布が多い4歳児において、弾力運用による対応を行った。	H26.4～ H27.3
	②家庭的保育の新制度対応について検討した。（食事、勤務体系等）	H26.4～ H27.3
	③子ども・子育て会議を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定した。	H26.4～ H27.3
(2) 子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、成長を支援できる大人を増やす取組みを行い、「地域の子育て力」を高めます。	①子ども市民憲章普及啓発冊子「おとなも子ども」を配布・設置した。	H26.4～ H27.3
	②子育て支援団体の活動内容を、ブログを活用したシステムで提供できるようにした。	H26.7
	③市ポータルサイトの更なる利便性の向上のため、利用者ニーズの把握のためのアンケートを実施した。	H26.11
(3) 世代間や異年齢同士の子どもの交流機会を豊かにし、子どもの自主性・社会性を育む居場所を充実します。	①市内5つの小学校で放課後居場所事業を実施した。	H26.4～ H27.3
	②放課後居場所事業において、雨天中止時等の対応を検討した。	H26.4～ H27.3
	③夏季休暇において、昼間保護者がいない児童を対象に、弁当持参で児童センターを利用することができるサマーキッズを実施した。	H26.7～8

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

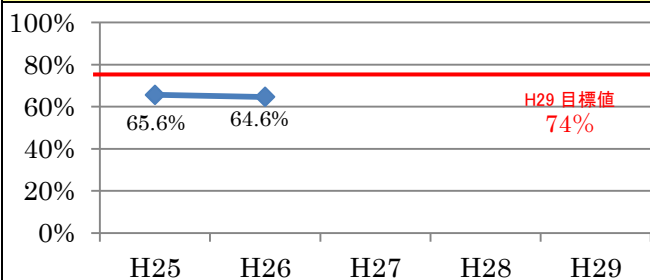
#### 1. 市民意識調査結果

【設問】地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う

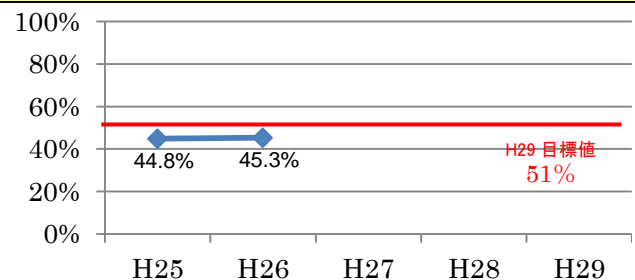


#### 2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合



2) 子どもとふれあう行事に参加したことがある人の割合



#### 3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析 (要因・課題等)

- 「市民意識調査」は、策定時に比べ 2.1% の増の結果となった。60歳代を中心に50歳代以降で前向きな回答が増加している一方、今の子育て世代である20歳代を中心に40歳代以下で減少しており、世代間のギャップがあり、当事者は、より一層の支援を求めている。地域では、いずれの学区でも、親子が参加する行事が企画されており、より積極的に地域で取り組まれることが期待されている。これらのことから、子育てに対する世代間のギャップを埋めるとともに、地域のシルバー世代をはじめ、企業や働く現役世代の男性も含め、あらゆる世代が子育てに寄り添い、男性の働き方の見直しを含め、子育てと仕事の両立など、地域の子育て支援をさらに充実していくことが必要である。
- 指標1) は1%減である。これは、市民意識調査結果で分析したとおり、子育て世代が、さらなる子育て支援の充実を求めていることの表れと考えられる。
- 指標2) は0.5%増と、目標値に向かって上昇している。男性の参加が3.5%増加しており、女性よりも増加をしている。翼小学校区や高取小学校区、高浜小学校区で増加しており、子どもとふれあう行事の充実が伺える。
- 子どもの視点に立った成長支援が地域ぐるみで行われ、子どもがのびのびと活動し、家庭やまちに笑顔があふれているのかどうかについては、現在の指標では大人の目線で調査していることから、測定できない部分であるため、子どもを対象とした調査をどのようにしていくのが課題である。

#### IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案）	見直し・改善（案）
<b>（１）保育サービス等の拡充</b> ・子育て支援の制度や施設、地域の子育て支援は拡充されてきたが、より一層の充実が求められている。	・子ども・子育て支援事業計画に沿った事業推進をしている。	継続
	・子ども・子育て会議等での意見を踏まえ、必要に応じて計画を見直し、子どもの視点を忘れずに、将来負担も意識した適切なサービスの提供を図る。	継続
	・利用率が下がっている幼稚園等を活用し、認定こども園化を図るなど、保育園の待機児童対策を図る。	継続
	・放課後居場所事業を活用し、児童クラブの待機児童対策にも取り組んでいく。	継続
<b>（２）地域での世代間の関わりの拡大</b> ・地域で子どもや親子向けの行事などが増えているが、子育て世帯が求める支援にはつながっていない。 ・子どもの成長には、地域の様々な人との触れ合いが必要であることから、子どもの居場所では、地域とより連携し、地域で世代を超えた交流をする機会が必要である。	・日頃から、身近な場所で、世代を超えた人との関わりができ、子育て中の親子が安心できるような居場所づくりが推進されるよう、子どもに関係する団体等に働きかける。	継続
	・放課後居場所事業では、地域の達人等の協力を得て、様々な人との触れ合いの場がある居場所となるようにしていく。	継続
<b>（３）関係者と連携した取組みの強化</b> ・市内で提供しているサービスや行事などの情報が、保護者にしっかりと届かなければならない。 ・子育て支援団体が市内で様々な活動を行っているので、もっと必要な情報が届くようになり、団体間の情報共有が進む必要がある。 ・子どもや子育てに対するギャップが感じられるので、事業主や企業で働く子育て世代の男性を含め、あらゆる世代の理解が得られるように、啓発していくことが必要である。	・子育て支援ネットワークのホームページや子育てハンドブック『あんちょこ』等、各種子育て支援情報が簡易に得られる環境をより充実させていく。	継続
	・PTAやまちづくり協議会、町内会などの活動団体の情報提供の充実に加え、それぞれの活動の充実につながるように団体間の情報共有等の連携を図る。	継続
	・子どもの視点を意識した取組みが進むよう、 <u>子どもからの意見を</u> 取り入れていく。	継続

#### V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

Ⅱ. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

### Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- 地域ぐるみの取組みを進めていくためには、「もっと地域にこういったことに取り組んでほしい」といった行政の想いを、ストレートに伝えていくことが必要ではないか。
- 子どもの視点を意識した取組みが進むよう、親・子ども双方の意見を集約し、施策に反映をしていくことが望ましい。

### その他、目標の達成に向けて

- 指標「子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合」を上げていくためには、若い世代がどんな情報・サービスなどを求めているのか、アンケートだけでなく、直接、声を聞き取ることが大切である。例えば、保健センターで実施されている健診において、お母さんたちが待ち時間に輪になって座っている光景を見ることがある。実際にその輪の中に入って行って会話をすると、お母さんたちからいろんな話が聞くことができ、取組みの参考となるはずである。
- 乳児を抱えている方は、知らないところに出かけることが難しいという方が多い。スマートフォンの活用など、自分の家にいながらも、ある程度の情報を得られることが望ましい。また、行政から一方通行の情報発信ではなく、受信する側との対話のキャッチボールができるような情報交換の仕組みを工夫してはどうか。
- 地域ぐるみで子育て・子育てを支えていくためには、若い世代への働きかけをもっと具体的に考えていかないといけないと実感した。企業で働く従業員は、地元の方が多いと思う。企業が一丸となって地域のために取り組んでいただければ、おのずと従業員も関わりやすくなり、子育て中の方々とも理解を深めていただけるのではないか。
- 地域の教育力を上げていくためには、生涯学習政策がベースとなる。生涯学習、学校教育、子育て・子育ての3分野は、互いに関わり合いが深く、連携が欠かせない。縦割りにならないよう各部署が連携し、お互いに問題点を出し合いながら取り組んでいただきたい。